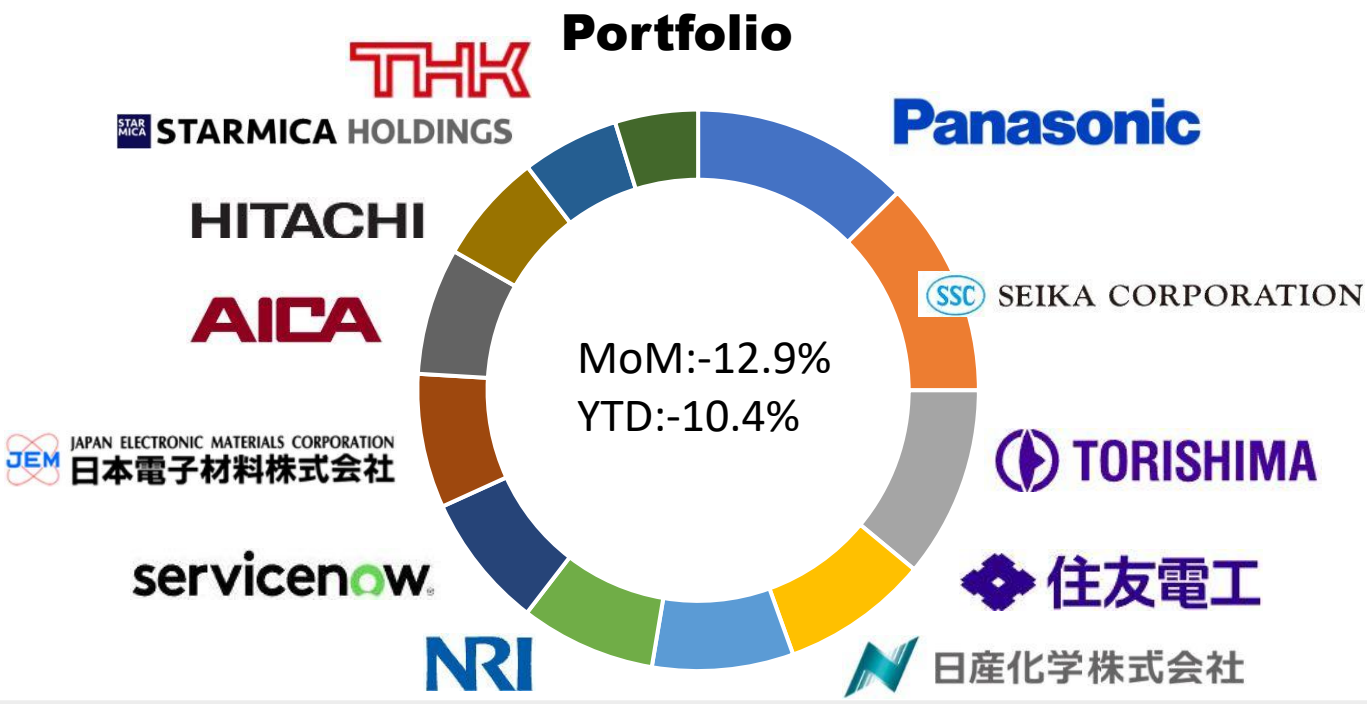


たけうまファンド

2026年10月期
Monthly Report

Portfolio



運用指標

組入銘柄数	配当利回り	キャッシュ比率	設定来分配金	設定来運用成績
12	2.3%	2.4%	0円	1799.97%
※株主優待目的保有除く			※成長ないから分配なし	

運用コメント

やらかしましたね。直撃です。反省…

10月には反転するみたいなやつが月初にタイミング来たといい気になって、その後のふんわりとした調整で動けず対応が遅れました。今年の劣後を取り返すべく半導体関連の比率を高めていたのが完全に裏目になりましたね。半導体ETFと日本電子材料が増やした部分なのでここが余計で食らった部分でした。まぁ元から持っていたパナや住友電工もひどい下落となったので大部分はどうしようもなかった感はあります。

三菱商事、OSG、三菱電機、半導体ETF、アルファベットを売却。代わりにセキュリティ関連としてNRI、三菱電機の入れ替えで日立製作所、ファナックの決算を見てTHK追加、アルファベットは決算後にぶん投げ。サービスナウも同様にまたとんでもなく下げましたがこちらは若干追加。月中では旭化成を一瞬買ってみたり、きんでん買ってみたりしました。

アルファベット売却はハイパースケーラーが強いのは本業が一切の曇りなく光り続けるからなのであって陰りが見え始めたらもうその神通力なくなるだろうなというのが理由。

工作機械などハイベータなものは売上は絶好調だけど受注が止まるで死ぬイメージなので、現在の受注伸びてるのが評価されない環境は天井ではないと思うんですよね。

運用コメント

先行き懸念、つまりアメリカの中間選挙で民主党が躍進してAIの規制が入って成長軌道が下方修正されるかもしれないから今どれだけ受注が入っていてもそれが今後の売り上げにつながるかの確信は持てないという不安が主なんだろうなと思います。そりゃどうしようもないよ…

決算を見ているとやはり目を惹くのは半導体やデータセンター方面にかかわりのある事業をしている会社です。安定した運用をするというなら大してEPS成長が期待できないような銘柄も持たないといけなくなってしまいますが、それで食らった時が一番嫌なのでどうしてもこうなってしまう。もうほんと指数にしておくのが一番いいんですかね。

大きく食らってしまったのでもう年末までになんとかトントンになってくれればいいなという気持ちしかありません。